



SWIFT ジャパンの新しいリーダーとして 武井祐二が代表取締役役に就任

*顧客管理チームのトップに立ち、日本事業の拡大戦略を
加速*

2014年8月25日 -世界212カ国で10,000以上の金融機関や企業を結ぶ金融取引のメッセージ通信網を提供する SWIFT (本社：ベルギー)は、日本の代表取締役として武井祐二（たけい・ゆうじ）を指名し、東京に配属することを発表しました。

武井祐二代表取締役の指名に当たり、アジア太平洋・EMEA 地域統括役員を務めるアラン・レイズ（Alain Raes）は次のようにコメントしています。「武井は日本国内外の財務テクノロジーやプロフェッショナルサービス関連のグローバル企業各社で上級管理職を歴任し、豊富な経験と実績を持つグローバルリーダーです。彼の深く幅広い業界知識は日本のお客様にとっての財産となり、この地域における成長目標を達成する過程で大いに役立ちます」

また、武井祐二は次のように述べています。「日本の SWIFT のチームへ参加できることを大変嬉しく思っています。SWIFT の強みを活用して日本の銀行や企業のお客様に革新的なソリューションをお届けできることを楽しみにしています。私のお客様のビジネスだけでなく、金融サービス業界全体に対して真の価値をご提供するお手伝いをしながら、SWIFT ジャパンが順調に成長できるように支えていく決意を新たにしております」

武井の直属の上司となるアジア太平洋地域最高経営責任者のエディー・ハダッド（Eddie Haddad）は次のようにも話しています。「当社がアジア地域全体での存在感を拡大し続ける中で、日本は SWIFT にとって重要なマーケットとなります。武井は豊富な経験という財産を持ち合わせており、当社の金融機関や企業のお客様をサポートしていく上で、それぞれの膨らむニーズに合わせた可能な限りの最高のソリューションを提供することができ適切な人物であると言えます」

Press release

武井祐二は SWIFT 入社以前にインターナショナルデータグループ (IDG) に所属し、IDG ジャパンおよび IDG インタラクティブの社長兼 CEO も務めました。他にもダンアンドブラッドストリート ジャパンおよびダンアンドブラッドストリート TSR 株式会社 (ダンアンドブラッドストリートと東京商エリサーチのジョイントベンチャー) の社長兼 CEO、プロメトリック株式会社の代表取締役なども歴任しました。業界のベテランとしての武井は、ロイタージャパン株式会社でも 20 年以上にわたり様々な事業部門を歩き渡り、同社の日本支社長兼 CEO として手腕を発揮した経験を持っています。

武井祐二は慶応義塾大学法学部政治学科を卒業しています。

SWIFT について

SWIFT は協同組合形式の団体で、212 の国と地域で通信プラットフォーム、商品およびサービスを提供し、10,000 以上の金融機関や企業をつないでいます。SWIFT のユーザーは自動化・標準化された金融情報を安全かつ信頼できる方法で送受信することにより、コスト削減や業務運営リスクの低減および業務上の非効率性の排除が可能となります。SWIFT は金融業界をまとめ、協力して市場慣行を構築するとともに、標準を策定し、相互に関心のある問題について話し合う機会を提供しています。

また、SWIFT は香港とシンガポールを皮切りに、アジア太平洋地域で 30 年以上にわたり事業を展開しています。2005 年に 3 つの地域支社を開設し、現在では合計で 8 つの営業・サポートオフィスとオペレーション中央コントロールセンターを持つまでに拡大しています。2013 年にはクアラルンプールに新しい法人サービスハブを開設しました。

詳細につきましては、www.swift.com をご参照いただくか、下記までお問い合わせください。

SWIFT 広報代理 ウェーバー・シャンドウィック・ワールドワイド
加々美 陶子
+81 3 5427 7383
tkagami@webershandwick.com